# 事務局提出資料

令和7年11月21日

## 年内の活力WGの進め方(案)

EBPMアドバイザリーボード 8月19日 経済・財政一体改革推進委員会 9月16日 ・各WGでの主な論点整理 経済社会の活力WG① 1. EBPMアクションプランの新規策定について ·高等教育 -EBPMアクションプラン素案 11月21日 -財政制度等審議会 財政制度分科会での議論状況 (今回) 2. 研究・イノベーションにおけるEBPMについて 3. 進捗管理・点検・評価表等のフォローアップについて ·公教育 ・スポーツ ・文化 経済社会の活力WG② ・WG①における指摘事項に関する議論 12月上中旬 ・全体取りまとめ 経済・財政一体改革推進委員会 12月中下旬

・各WGでの議論内容の報告

## WGにおける主な論点

### く①急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方>

#### 背景

- デジタル化の進展等により産業構造の抜本的な変革、労働需要の在り方への変化が予想されており、職種間のミスマッチが発生するリスクがある(例:AI・ロボット等の活用を担う人材※が将来的に不足)。
- 一方、現在、約63万人いる大学進学者数は、2040年には約17万人減の約46万人に減少すると推計されているとともに、国公私立を通じた理工系入学者割合は17%とOECD平均の27%を大きく下回っている状況であり、学歴間のミスマッチとして、事務職で需要が減少し、大卒文系人材の余剰が生じる可能性があることから、戦略的な人材育成が必要。
- ○「知の総和」の向上に向け、高等教育のアクセスを確保しつつ、国公私を通じた大学の連携、再編・統合による機能強化や縮小・撤退による規模の適正化を進めるとともに、教育の質の高度化を進めることが急務。
- 理工・デジタル分野における人材の充実や、地域の需要等を踏まえた産業人材の育成を含め高等教育の機能強化の 観点から必要な取組を進めるとともに、EBPMの推進による効果検証及びワイズスペンディングを徹底すべく、新たに EBPMアクションプランを策定する。
- ※主に、国勢調査の職業分類上の機械技術者やその他の情報処理技術者等。

#### 論点

#### OEBPMアクションプランの策定について

- ●政策目標やKGI、KPIは、期限が明確で、定量的かつ測定可能な指標となっているか。
  - ・高等教育全体の規模の適正化に向けた取組の方向性及び指標の在り方
  - ・教育の質を測る指標の検討状況及び今後の方向性
- ●政策目標、KGI、KPI、それに影響を与える関連施策をつなぐロジックが妥当か。

## <②研究・イノベーション力の向上>

#### 背景

- 科学技術・イノベーションは我が国の国力の源泉であり、国際競争を勝ち抜くためにも、研究・イノベーション力の向上は 政府として取り組むべき目標である。それに向け、令和7年度中に次期の科学技術・イノベーション基本計画の策定が 予定されており、9月18日(木)には論点案も公表されたところである。
- そのような政府全体としての動きや、春に行った活力WGにおける議論内容をもとに、要検討とされていた指標及び未設 定の目標値等について見直しを進めていく必要がある。
- また、「経済財政運営と改革の基本方針2025」においても、「多様で厚みある研究大学群の形成に向けた取組を、効果検証しつつ進める」こととされており、特にこれまでの活力WGにおける議論等を踏まえ、国際卓越研究大学制度及びJ-PEAKSにおける国としての大目標の設定は優先して検討すべき事項となっている。
- 今回の活力WGにおいて、国際卓越研究大学制度及びJ-PEAKSの担当部局として検討している国としての大目標の 案について、その議論状況を報告してもらいながら、そのロジックの妥当性についてご議論をいただく。

#### 論点

- ・定めている指標が次期科学技術・イノベーション基本計画の方向性と整合しているか
- ・EBPMを踏まえたKPIの在り方(国際卓越研究大学制度及びJ-PEAKSにおける国としての指標等)

## 進捗管理・点検・評価表における主な宿題事項

## 【全体】

- ・目標値未設定、実績値未記入の指標への対応
- ・KGI、KPI、関連施策の全体的な繋がりの見直し

### 【1. 質の高い公教育の再生】

- ・校長の人事評価に働き方改革に係る観点を導入することに関する指標の設定
- ・学校における教職員間の連携協働の実施状況に関する指標の設定
- ・教師のウェルビーイングに関する指標の設定

### 【2. 高等教育の機能強化等】

- ・教育の質を測る具体的な指標の検討
- ・高等教育全体の規模の適正化に向けた取組促進について測る指標の設定

### 【3.研究・イノベーション力の向上】

- ・国際卓越研究大学、J-PEAKSにおける国としての指標の設定
- ・各指標の具体的な取り方に係る検討

## 【4. 民間資金等の一層の活用によるスポーツの普及・発展】

・スポーツを通じた地域活性化やウェルビーイングの向上に係る指標の設定

## 【5. 官民一体となった文化の振興】

・文化芸術を通じたウェルビーイングの向上に係る指標の設定